

つれづれよこはま : 司法書士・福井圭介

2年ぶりのインターン生受け入れ

今回は、当事務所でこの8月に行った大学生のインターンシップ研修についてご紹介します。

法学部生のカリキュラムの一つで、司法書士事務所で実務の現場を3日間見学するものです。コロナの影響により昨年は実施されず、当所では一昨年に続いて2回連続の受け入れとなりました。

このコロナ禍にあって研修を希望する学生は減るところか急増したそうです。オンライン講義がメインの大学生活の中で、外部との接触がままならいからこそ、普段とは異なる環境に接することを切望されているのでしょう。

配属されたインターン生は司法書士業務に興味をもっており、大変勉強熱心でした。指導員である私が実際の実務例を紹介しながら法律の根拠を問う中でも、次々と質問をされ大変教え甲斐のある学生さんだなと感じました。

大学生のインターンシップの他にも司法書士試験合格者の配属研修の指導も担当していますが、研修目的に合わせた指導を心がけています。

司法書士試験合格者は試験勉強と実務の違いを学ばせることに対し、大学生は大学で学ぶ法理論が実務にどのように反映されているかを理解させることが主眼となるため、私にとっても法理論的な思考方法をあらためて見つめ直す格好の機会となりました。

前回のインターン生とは研修の合間に喫茶店でざっくばらんな会話ができましたが、今回は飲食を共にしてはいけなかったため、学生さんとの交流の機会という面では少し物足りなく残念ではありました。

三日間の研修終了後に、インターン生から感謝を綴ったお手紙を頂き、その中で司法書士試験に挑戦するという意気込みも書かれており、とても嬉しく感じたところです。



日々雑感 : 司法書士・清水敏博

これからの的確なアドバイスを続けるために

コロナは私たちのくらしやビジネスの様相を一変させました。

これまでの社会の仕組みの限界が明らかになり、ますます変化に富んだ複雑で先行き不透明な時代が到来しようとしています。

そのような中、私は知識のバージョンアップの必要性を強く意識し、「学び直し」に日夜励んでいます。

今までとは違う日常から生じるお客様のお困りごとは、これまでの知識や経験だけではなかなかカバーしきれません。

むしろ従来の知識や経験に頼りすぎると判断やアドバイスを誤ってしまう可能性すらあります。

また、日々発信される膨大な情報の中から正しいものを収集し、専門家として分かりやすくご説明したり、より一層複雑になった問題・課題に対し、瞬時に事案の本質を見抜いて適切なアドバイスするなど法律以外の知識や能力をさらに高めていくことも大切です。

そこで、私は情報学・社会科学・行動科学といった分野の本やオンライン講義を通じて「社会システム」や「人の行動」に関する知見を深めています。社会はこれからどのような方向に進むのか？、人々はどのように行動するのか？を予測できれば、お客様への適切なアドバイスや解決策の方針決定にとっても役に立ちます。

これからも社会は急速な勢いで変化していくことが予想されます。

専門家としてさらなる知識や能力のバージョンアップに努め、お客様に安心を届けられるように精進してまいりたいと考えております。



相続・遺言・贈与・成年後見・老後の生活設計

発行: 司法書士法人あいおい総合事務所
横浜市戸塚区戸塚町157フタバビル203
TEL 045-862-6012 FAX 045-862-6081



食欲の秋！
焼き芋がおいしいです。
さいごまでおよみいただき
ありがとうございます。
次号は来年4月ごろです。

